学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	課題実習Ａ（建築）	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グループで企画・立案して取り組む課題です。協力して1つのものをつくりあげますので各グループ・各個人がしっかりと取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

建築模型を制作するうえで必要な図面を読み解く力や技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

集団の中での役割を理解し、作品完成に向けて、表現する力や創造性を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

建築設計のに対し個人で取り組むのではなく、グループで大規模な課題に取り組むことにより、チームワークとの協調性、自らが学ぼうとする力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築模型に関するそれぞれの分野の基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における分業の意義と建築模型の意義や役割を理解している。また、建築模型の応用技術を身に付け、役割分担を行い、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	建築模型に関する諸課題の解決をめざして集団の中での役割を考え思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、応用し、表現する創造的な能力を身に付けている。	建築模型について関心を持ち、その技術の習得をめざし主体的に取組むとともに、集団の中で自身の立ち位置を見出し、創造的に学ぶ態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	大型模型製作	大型模型の意義 大型模型の事例研究 模型製作応用技術について 模型化する大規模建築物の提案 制作の分業と工程表作成 制作	a.建築模型の応用技術を身に付け、役割分担を行い、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b.建築模型に関する諸課題の解決をめざして集団の中での役割を考えて思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、応用し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c.建築模型について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、集団の中で自身の立ち位置を見出すことができ、創造的に学ぶ態度を身に付けている。	学習状況の観察	課題の取組状況・成果物	課題の進捗状況
2		制作				
3		制作				

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度